

平成 20 年度高等学校情報処理教育継続研修
研 修 報 告 書

目次

研修概要 ----- 1

研修成果のまとめ ----- 3

氏名	学校名	教科	コース名	ページ
柳 田 俊 夫	川内商工高等学校	工業	情報技術	3
市 原 一 成	加治木工業高等学校	工業	情報技術	4
小 倉 潤	鹿屋工業高等学校	工業	情報技術	5
満 留 匡 樹	串良商業高等学校	商業	情報処理	6
外 山 善 久	鹿児島商業高等学校	商業	情報処理	7
崎 野 安由美	鹿屋女子高等学校	商業	情報処理	8
当 房 晶 広	鹿児島東高等学校	数学	情報総合	9
菊 永 瑞 樹	市来農芸高等学校	農業	情報総合	10
嶽 崎 明 夫	出水工業高等学校	工業	情報総合	11
小 野 綾 子	指宿商業高等学校	商業	情報総合	12
杉 元 やよい	出水商業高等学校	商業	情報総合	13

研修概要

1 目的

急速に進展する情報化に対応した情報処理教育を推進するため、県内の高等学校において情報技術・情報処理に関する科目を担当する教員及び情報教育の推進を担当する教員を対象に、年間を通して継続的に専門的研修を行い、新しい知識や技術の修得を図って、情報処理教育の充実に資する。

2 対象

- (1) 農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉に関する学科，もしくはその他の専門に関する学科を設置している高等学校において，情報技術・情報処理に関する科目を担当する教員及び情報教育の推進を担当する教員
- (2) 普通科を設置している高等学校で，普通教科「情報」を担当している教員及び情報教育の推進を担当する教員

3 人数

11人

4 研修期間・日時

平成20年5月9日から平成21年2月13日までの期間における金曜日(年間19回)
9時30分から16時まで

5 研修内容

コース	全体研修	コース別研修
情報技術	・インターネットの教育利用 ・ホームページ作成ソフトの基礎 ・プレゼンテーションソフトの基礎 ・画像処理ソフトの基礎 ・LANの構築と活用 ・ネットワークサーバの構築と活用 ・成果のまとめと発表	・CADの基礎と活用 ・制御基板の製作 ・プログラム言語 ・ワットアップマイコンによる制御回路 ・課題研究
情報処理		・エンドユーザコンピューティング ・データベースソフトの活用 ・動画編集ソフトの基礎 ・課題研究
情報総合		・画像処理ソフトの活用 ・動画編集ソフトの活用 ・Flashの基礎と活用 ・ホームページ作成ソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用 ・表計算ソフトの基礎，活用 ・課題研究

6 日程及び研修内容

回	月/日	情報技術コース	情報処理コース	情報総合コース
1	5/9	開講式，オリエンテーション・施設見学 インターネットの教育利用		
		ホームページ作成ソフトの基礎		
2	5/16	プレゼンテーションソフトの基礎		
3	5/23	画像処理ソフトの基礎		
4	6/6	CADの基礎と活用	エンドユーザコンピュータ活用〔1〕 ・シスアド研修 ・ブックの利用	画像処理ソフトの活用
5	6/13	制御基板の製作〔1〕 ・インターフェースの製作	エンドユーザコンピュータ活用〔2〕 ・シスアド研修 ・関数	動画編集ソフトの基礎
6	7/4	制御基板の製作〔2〕 ・インターフェースの製作	エンドユーザコンピュータ活用〔3〕 ・シスアド研修 ・ピボットテーブル	Flashの基礎と活用
7	7/11	プログラム言語〔1〕 ・Visual BASIC	エンドユーザコンピュータ活用〔4〕 ・シスアド研修 ・グラフ応用	ホームページ作成ソフトの活用〔1〕 ・フレームページの作成
8	10/3	プログラム言語〔2〕 ・アセンブラ言語	エンドユーザコンピュータ活用〔5〕 ・シスアド研修 ・グラフ応用	ホームページ作成ソフトの活用〔2〕 ・スタイルシートの作成
9	10/10	プログラム言語〔3〕 ・C言語	エンドユーザコンピュータ活用〔6〕 ・シスアド研修 ・グラフ応用	プレゼンテーションソフトの活用〔1〕 ・効果的なスライド作成 ・ハイパーリンクの設定
10	10/17	ワンチップマイコンによる 制御回路〔1〕 ・制御回路の製作	エンドユーザコンピュータ活用〔7〕 ・シスアド研修 ・データベース	プレゼンテーションソフトの活用〔2〕 ・課題研究
11	10/31	ワンチップマイコンによる 制御回路〔2〕 ・制御プログラム	データベースの基礎 ・データベース操作	データベースの基礎 ・データベース操作
12	11/14	LANの構築と活用〔1〕		
13	11/21	LANの構築と活用〔2〕		
14	11/28	ワンチップマイコンによる 制御回路〔3〕 ・制御プログラム		
(14)	12/3			表計算ソフトの活用 ・集計処理 ・グラフ作成
15	12/5	マクロ・VBAの基礎		
16	12/12	課題研究〔1〕	データベースの活用	マクロ・VBAの活用
17	1/16	課題研究〔2〕	動画編集ソフトの基礎	動画編集ソフトの活用
18	1/23	課題研究〔3〕	課題研究〔1〕	課題研究〔1〕
(14)	1/27		課題研究〔2〕	
19	2/13	課題研究〔4〕 ・成果のまとめ	課題研究〔3〕 ・成果のまとめ	課題研究〔2〕 ・成果のまとめ
		発表会・修了式		

1 研修成果

- (1) P I Cによる制御の基礎やプログラミング，電子回路や電子部品など多くのことを研修し，生徒の課題研究でP I Cを使って制御するライトレーサーを製作することができた。
- (2) パワーポイントの様々な機能を理解することができ，単に提案や研究発表のプレゼンテーションに利用するだけでなく，教材として工夫して使う方法を修得した。
- (3) マクロ・V B Aを使って 校務での活用や教材の工夫改善に生かす方法を修得した。
- (4) L A Nの基礎を理解することができ，校内L A Nやパソコン室のネットワーク構成を理解することができた。
- (5) フリーソフト「J W - C A D」には機械製図を行うための十分な機能があり，製図の授業や課題研究で活用できることが分かった。

2 成果の活用状況

- (1) 生徒の課題研究で，インターネットの活用に関する指導を行ったり，J W - C A Dを使った作品の図面製作の指導を行ったりした。
- (2) 生徒の課題研究発表会において，動画なども使ったスライド作成の指導を行った。
- (3) 成績処理で，繰り返し行う並べ替えや印刷などの処理をマクロ・V B Aを使って効率的に行えるようにした。

3 今後の取組

- (1) P I Cを使った教材を研究し，生徒の課題研究のテーマとして取り扱う。また実習の項目としても取り扱えるよう検討する。
- (2) 授業でパソコンなどI C T機器を有効に使い，生徒の理解向上に役立てる。
- (3) 動画処理ソフトを活用し，機械の構造等を理解させる教材作成や文化祭などの学校行事で利用する。
- (4) 研修で学んだ多くのことを，校務の効率化に役立てる。

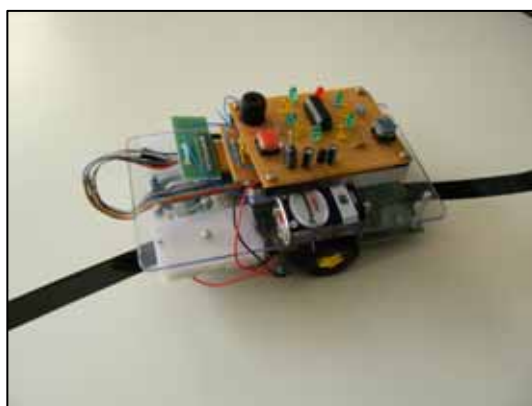


図 PIC制御ライトレーサー

1 研修成果

- (1) 今まであまり取り組んでこなかった電子工作であったが、この研修を通して電子回路や制御についての関心が高まった。
- (2) 製作に当たっては半田付けから苦労したが、コツをつかむことができた。また、電子部品の特性や使い方についての基礎的なことも修得することができた。
- (3) 電子回路や電子工作について基礎的なことを修得でき、実習等で生徒に指導できるようになった。
- (4) フリーソフトのJW-CADの活用方法を修得することができた。
- (5) ソフトウェアの活用に関する幅広い知識と技術を修得することができ、授業や校務に生かすことができるようになった。

2 成果の活用状況

- (1) 交通係として作成している3年生の自動車学校入校状況を管理するワークシートを、マクロを利用してより使いやすくするなど、校務処理の効率化を図ることができた。
- (2) LANの構築で研修したファイルやプリンタの共有設定を行うことができた。

3 今後の取組

- (1) マクロ・VBAについて継続的に取り組み、校務に関する事務処理を更に効率的に行えるように工夫・改善を図りたい。
- (2) PICなどの制御関係についての学習を深め、実習や課題研究等で生徒に還元できるようにしたい。
- (3) ホームページ作成ソフトを活用し、係として担当している同窓会ホームページの内容を充実させたい。

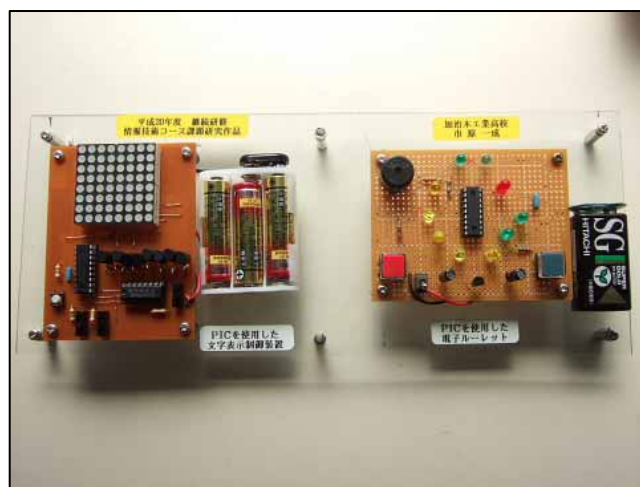


図 製作した文字表示装置及びLED制御装置

1 研修成果

- (1) プレゼンテーションソフトを活用できるようになり、これまで知らなかった機能なども身に付けたことで、授業などでの活用の幅が広がった。
- (2) JW-CADが使えるようになりたいと考えて研修に臨んだが、活用することができるようになり、よい機会となった。
- (3) 簡単なインターフェース回路を製作したり、PICによる制御回路を製作してプログラムで動かしたりしたが、今回の経験を通して制御に関する知識の幅を広げることができ、生徒にも教えることができるようになった。
- (4) マクロ、VBAについての研修により、これまでやってきた成績処理などの仕事を簡略化することができるようになった。
- (5) LANの構築やサーバの設定なども、他の職員に任せきりになっていたが、自分でもできるようになった。

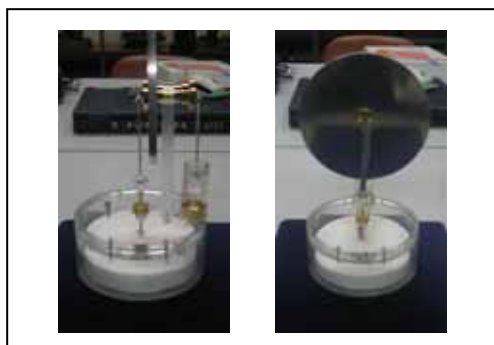


図1 製作したスターリングエンジン

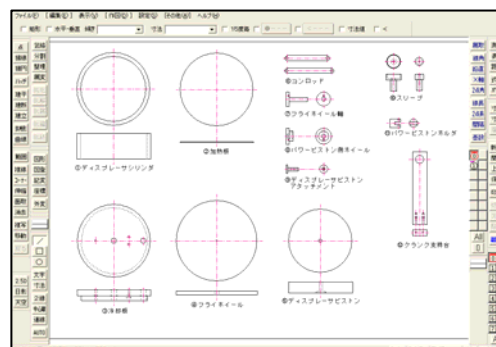


図2 JW-CADによる設計図

2 成果の活用状況

- (1) マクロ、VBAの活用による校務の効率化
 - ア VLOOKUP 関数などで個人成績を表示する際に、今までデータを入力していたが、スピントタンを使うことによって操作を簡素化できた。
 - イ 生徒の個人成績一覧表をこれまで一人分ずつ印刷実行してきたが、クラス分を連続して印刷できるようにした。
 - ウ PTA系の業務で会員名簿を作成しているが、クラスごとの印刷等をマクロで容易に行えるようになった。
- (2) JW-CADの活用
 - ・ 来年度の課題研究でスターリングエンジンの製作を計画しているが、JW-CADを使った設計から行うことで、より充実した取組になると考える。

3 今後の取組

- (1) 授業では時々、プレゼンテーションソフトを活用しているが、これから研修で学んだ機能なども使いこなして、より理解させることができる教材づくりをしていきたい。
- (2) JW-CAD、PICについては授業や実習で扱っていなかったが、来年度、3年生の課題研究などで、生徒にもものづくりをさせていく中で活用していきたい。

1 研修成果

- (1) エクセルVBA・アクセス・ホームページビルダーなど、様々なソフトの特徴や活用法を修得した。
- (2) 現代社会における情報教育の重要性や大切さを改めて認識した。
- (3) 他の研修者と情報交換をすることで、他学科の様子や改めて商業科の特性を知り、教員としての幅が広がった。
- (4) 課題研修を通して、自分自身で考え作品を創作するという経験することができた。

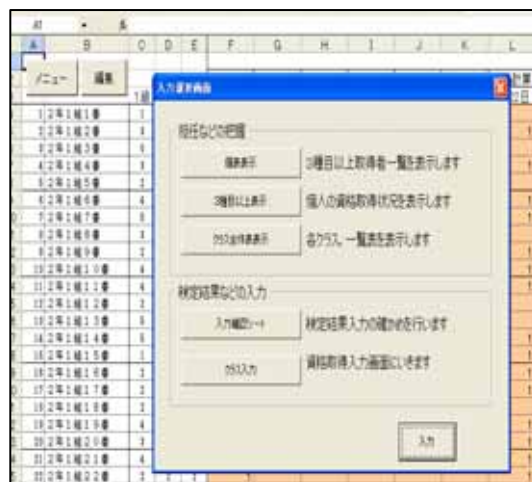


図 資格取得状況を管理するワークシート

2 成果の活用状況

(1) 生徒への還元

今回の研修で学んだアクセス、ホームページビルダー、LAN構築、エクセルVBAなどを、情報処理やプログラミングの授業を通して生徒へ指導している。そうすることで、生徒は検定としての授業だけでなく、より実践的に様々なIT機器の活用方法を学ぶことができています。

また、情報モラル・倫理なども指導することで、情報活用能力を総合的に育成するよう努めている。

(2) 他の職員への紹介

1年間の継続研修を通して学んだ知識・技術はもちろん、講座内容や他学科の先生方との情報交換で学んだことなどを紹介し、自分自身はもちろん、他の先生方とともに資質を高めている。

(3) 校務等での活用

課題研修で資格取得状況を管理するワークシートを作成したが、今まで使用していた資格取得集計ファイルと融合することで、より校務を円滑に行うことができた。

3 今後の取組

- (1) 今後も情報処理に関する知識・技術修得のため、一層努力していきたい。また、めまぐるしく進展する情報社会に対応するため、積極的に情報収集に努めたい。
- (2) 生徒や教職員への還元をすることも研修成果と考え、より一層還元していきたい。また、機会をみつけ地域社会にも紹介していきたい。

1 研修成果

- (1) ホームページビルダーの使用法の修得
- (2) フォトショップの使用法の修得
- (3) パワーポイントの活用法の修得
- (4) ムービーメーカーの使用法の修得
- (5) LANケーブルの製作とLAN構築の修得
- (6) Access の使用法の修得
- (7) システムアドミニストレータに関する知識の修得
- (8) マクロ・VBAの基礎の修得

2 成果の活用状況

- (1) 校内ロードレース大会の成績処理を行うデータベースの作成
Access を使って、順位、欠席者、見学者等を入力し、個人及びクラスごとの集計を行うデータベースを来年度に向けて作成した。
- (2) 定期考査の成績処理を行うワークシートの作成
エクセルで作成した成績処理ワークシートを、マクロ・VBAを利用して使いやすいものにした。
- (3) パワーポイントを利用した授業
視覚的効果を利用するスライド教材を作成して授業で活用した。

3 今後の取組

- (1) 生徒の上級資格取得の指導
初級システムアドミニストレータやITパスポート等の指導を充実させる。
- (2) ホームページの作成
学校ホームページの更新や、部活動紹介ホームページの作成を行い、学校や部活動のPRをする。
- (3) Access を校務に利用
成績処理、職場体験や課題研究などの生徒データの処理を行う。
- (4) パワーポイントを授業へ活用
スライド教材を活用して、授業の工夫・改善を図る。
- (5) 動画編集ソフトの活用
動画編集ソフトを使って、学校紹介や部活動を紹介するVTRを作成したり、文化祭でクラスCMを作成したりする。

1 研修成果

19回の継続研修を通して多くのことを学んだ。私が選択した情報処理コースは、研修の半分近くが国家試験である初級システムアドミニストレーター試験対策だった。

国家試験に向け、3人の仲間と共に沢山の勉強をした。合格しなくてはというプレッシャーに押しつぶされそうになりながらも、諦めずに取組んだ。結果としては合格することができなかったが、久しぶりに必死で勉強をし、努力することの素晴らしさを改めて実感した。学んだことを無駄にしないよう今後生徒への指導に生かしていきたい。

19回という少ない研修の中で、教育センターの先生方が基本的なことから応用的な部分まで幅広く・分かりやすく指導して下さり、今まで敬遠してきた分野に少し興味を持つことができた。

継続研修を受講できたことに感謝している。少しずつではあるが、努力を惜しまず生徒・学校に還元していきたいと思う。そして、この研修で一緒に頑張った仲間との出会いも大切にしていきたい。

2 成果の活用状況

1年間の研修を通して、マクロ・VBAを利用した「用語三択問題」と「個人成績表」、ホームページビルダーを活用したテスト問題を作成した。

プログラムを組むということで、発表に間に合うのかという不安があったが、なんとか試行錯誤しながら、私自身が思い描いていたマクロを組むことができた。VBのプログラムを類似している部分もあり理解することはできたが、実際に記述していく上で問題ばかり起きてしまい、参考書片手に必死で取り組んだ。

まだまだ完成とはいえないので、生徒に還元できるように改良し、実際に活用していきたいと思う。

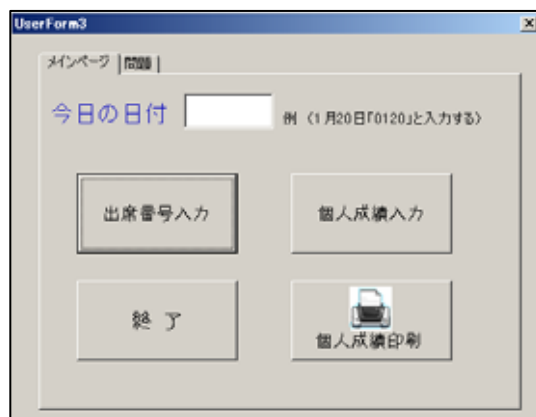


図 用語三択問題のメニュー画面

3 今後の取組

今回作成した教材を更に改良し、授業や生徒が自学自習で活用できるようにしたい。他にも生徒が興味関心をもって取り組める教材を作成し、生徒に還元したい。そして生徒の笑顔がみられるように、私自身も日々の努力を忘れずに、精一杯頑張っていきたいと思う。

学び続けることの大切さを実感させていただいた継続研修なので、日々学びながら努力し続けたい。

1 研修成果

継続研修を受講させていただき、主に「ホームページ作成」、「画像処理ソフトの活用」、「LANの構築と活用」、「データベース」、「マクロ・VBAの基礎・活用」の5点について、スキルを身に付けることができた。これらのことを普段から学んで使えるようになりたいと思っていたが、なかなか機会がなかったため、とても有意義な研修となった。

- (1) ホームページ作成では簡単なものではあるが、自作のホームページを作成し、スライドショーやフォトアルバム等の機能を使ったり、リンクを張ったりすることが出来るようになった。
- (2) LANの構築と活用では、LANケーブルを製作することができるようになった。
また、簡易LANの構築、簡易サーバの設定を学ぶことにより、校内LANの仕組みについて理解することができた。
- (3) マクロ・VBAの基礎・活用では、簡単なマクロから、VBAによるプログラミングを利用してコマンドボタンなどを作成し、利用することができるようになった。
また、オプションボタンを利用し、入力フォームなどを作成することができるようになった。

2 成果の活用状況

- (1) マクロ機能を用いて、桜島一周遠行における順位、タイム、役員や欠席等を入力し、クラス別・男女別に順位とタイムを表示させるファイルを作成することができた。
- (2) 分かりやすく、操作しやすい学級会計ソフトを作成した。また、VBAによるプログラミングを用いて連続印刷をすることができるなど工夫した。
- (3) 校務分掌の情報処理係として、研修で学んだことや、表計算・プレゼンテーションソフトの知識を生かし、困ったことや工夫したいことなど、色々な手助けを行うことができた。
- (4) 昨年4月に作成した時間割・考査監督割ファイルを見直し、より使いやすくなるように改良している。関数をうまく使って、監督割や監督時数のカウントを簡略化していきたい。

3 今後の取組

- (1) 情報の授業において、画像処理ソフトを利用した実習を通して、画像解像度、レイヤーを学ぶと共に、画像データの種類、著作権等に触れながら授業を組み立てていく。
- (2) プレゼンテーションソフトの基礎と活用において学んだことを生かし、動きのあるスライドを作成するなどし、図形など理解しにくいものを解りやすく伝え、理解の一助になるように活用していく。
- (3) Access、マクロ・VBAを活用して、校務分掌で活用できるソフトを作成していきたい。しかし、まだ自分自身のスキルが十分でないため、研修を積みながら少しずつスキルを身に付けていきたい。

1 研修成果

(1) 研修目的

農業高校では、動・植物の管理だけではなく、「農業情報処理」、「課題研究」等の科目において、ICT機器を活用する場面が非常に多い。そのため教科指導はもちろん、クラス経営や校務処理等、学校現場におけるICT機器の活用と情報処理技術の更なる向上を目指す、また、その内容を生徒に還元することを研修目的とした。

(2) 研修内容

共通研修では様々なソフトウェアの活用やLANの構築・設定等について研修した。そして課題研究では様々なソフトウェアの活用を研修成果ということでまとめた。

2 成果の活用状況

(1) 教科「農業」指導におけるプレゼンテーションソフトの活用

プレゼンテーションソフトを活用し、教材の作成を行なった。教科指導だけではなく、中学校体験学習等でも活用できるよう考慮しながら作成した（図1）。

(2) クラス経営における動画編集ソフトの活用

3年生の担任をしており、何か卒業記念になるものを作成できればと思い、動画編集ソフトを活用し、DVDの作成を行った（図2）。

(3) 校務処理における表計算ソフトの活用

進路指導の中で何か役立つものが作れないかと思い、調査書や個人成績表を関数やマクロを活用し、簡易に作成できるようにした（図3）。



図1 教科指導用スライド



図2 卒業記念DVD



図3 個人成績表

3 今後の取組

教育センターの先生方のご指導のおかげで1年間の継続研修を無事終了することができた。研修前は、校務との両立ができるかとても不安だったが、学校長をはじめ学校の先生方にサポートしていただき、何とかやり遂げることができた。

今回研修を受講していく中で、自分の技術不足を痛感し、今後も継続して研修をしていかなければと強く感じた。また、ホームページ作成ソフトや画像処理ソフト、動画編集ソフトなど今まで使う機会がなかったソフトの活用についての研修を受けることができたこと、そして教育センターの先生方や他の高校の先生方と様々な意見交換ができたことも、非常にプラスになったと思う。

農業教員においても教科の指導はもちろん、ICT機器の活用や生徒への指導については、ますます重要になってくると感じている。今回の研修内容を土台にして、次年度以降学校現場においてICT機器の活用を行い、その内容をきちんと生徒に還元できるよう努めていきたいと思う。

1 研修成果

電気の現象についての説明は難しい。詳細な図や分かりやすい説明を心掛けても限界がある。まして、同時に起こる複数の現象のときはなおさらである。1年間の研修で様々なソフトウェアの特徴や機能を知ることができた。そこで、パワーポイントのアニメーション機能を用いた教材を制作した。また、資格取得学習のための教材も制作した。

(1) 蛍光灯の点灯回路

「電力技術」等の教科書には、マニュアルスイッチ形・グロースタータ形・ラピッドスタート形のそれぞれの点灯回路が、スイッチが開いた状態で図示されている。そして、本文において、スイッチを閉じてから点灯に至るまでの現象を説明してある。グロースタータ形について、その過程を視覚化した（図1）。

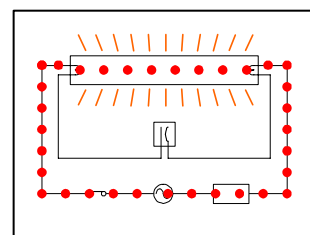


図1 蛍光灯

(2) ダイオードの働き

電子技術等の教科書には、まずpn接合面付近で起こる現象について構造図が示され、本文で説明がなされている。そして、順方向の電圧を加えた場合と、逆方向の電圧を加えた場合における内部の変化へと説明が進んで行き、それに合わせた特徴的な構造図が示されている。その過程を視覚化した（図2）。

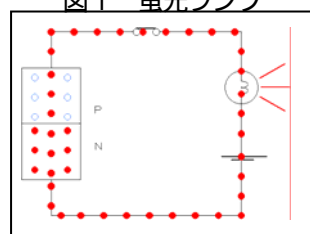


図2 ダイオード

(3) トランジスタの動作

「電子技術」等の教科書には、適正な電圧を加えることでトランジスタが動作する過程を本文での説明と、それに合わせた特徴的な構造図で示している。その様子を視覚化した（図3）。

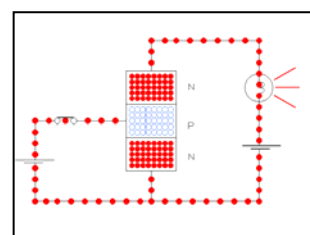


図3 トランジスタ

(4) 第2種電気工事士(鑑別問題)の学習

鑑別問題は、電気工事で使われる様々な工具や材料等について、写真・名称・用途が一致するように暗記しなければならない。そこで、マウスをクリックするごとに、写真 名称 用途の順で表示するようにした（図4）。



図4 鑑別問題

2 成果の活用状況

エクセルやパワーポイントといったソフトウェアは、これまでにも使用していたものの、備わっている多くの機能を知らなかった。今回の研修を通して、便利な機能を学習し、実際に教材の制作ができたことは、狭い領域で終わらせていたソフトウェア活用にも幅ができたと感じる。今後にも生かしていきたい。

3 今後の取組

今回制作した教材の改良をしていきたい。また、動画編集なども活用することで、様々な現象を忠実に表現できるように、今後も取り組んでいきたい。

1 研修成果

継続研修を受講して、今まで知らなかった技能を修得したり、情報処理教育について知識を深めたりすることができた。今まで経験したことのない研修内容もあり、本当に有意義な研修になった。

特にホームページの作成、マクロ・VBA、パワーポイントについては、今まで基礎知識程度しか知らなかったもので、研修を通して深く学ぶことができた。他の研修内容についても、より深い知識まで修得できた。また、なかなか経験することのできないLANケーブルの作成も教えていただき、とても貴重な経験となった。

研修を通じて、自分の知識の浅さを痛感した。今後は自己研修を積んで、それを更に深めて生徒や学校に還元していきたいと思う。

2 成果の活用状況

課題研修は、個人成績表の作成、パワーポイントによる教材作成、動画処理について行った。研修の延長のものもあるが、個人成績表については、当初の目標でもあり、マクロ・VBAを利用して作成し、2学期終業式には配布することができたので、研修成果をすぐに生かすことができた。

今後、進路への意識付けとして活用していけるよう、工夫や改善を加えていきたいと思う。

1年間で学んだ知識を様々な場面で生かしていきたいと思う。

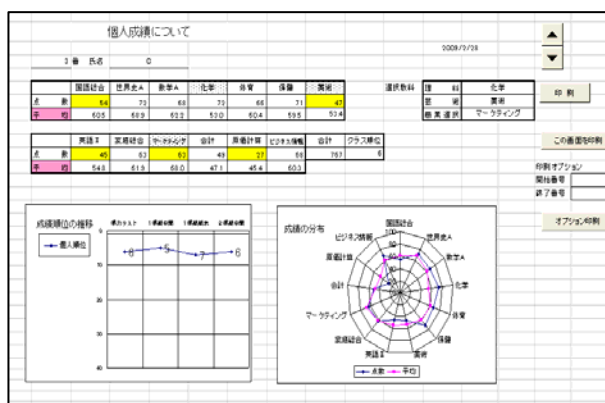


図 個人成績表

3 今後の取組

継続研修を受講することで、たくさんのことを学ぶことができた。19回の研修を通して学んだことを担任業務、教科指導、校務分掌等に生かしていきたい。特に、マクロ・VBAやパワーポイント、校内LANの構築については、日頃から生かしていけることだと思っているので、研修したことをこれからの教員生活で生かしていきたいと思う。

最初は毎週金曜日学校を離れ、クラスを空けることにとても不安を感じて始まった一年だった。行事、検定の事前指導、目が行き届かなく不安もあったが、周囲の先生方の支えや協力があってここまでこれたと思う。今は研修が終わってしまうのが、とても寂しい。1年間本当にあっという間だった。

また、教育センターの先生方、同じ研修者の先生方との出会いは、私にとって研修以上に大事なものとなった。これからもこの出会いを大切にしていきたいと思う。

1 研修成果

研修した内容で、特に教科指導や校務に役立てることができたのは、以下の三つである。

- (1) プレゼンテーションソフトの活用と動画編集ソフトの基礎
- (2) マクロ・VBAの活用
- (3) データベースの基礎・操作

その他にも、表計算ソフトで作業を効率化するための機能や校内LANの構築の基礎などを学び、新しい知識や技術の修得ができた。

2 成果の活用状況

プレゼンテーションソフトの活用と動画編集ソフトの基礎の内容は、研修中に作成した教材を使って、生徒にPowerPointとWindowsムービーメーカーの操作方法を説明することができた。文化祭では、生徒が、各団体の紹介スライドと作成風景を編集した動画を組み合わせた作品を発表し、オープニングを盛り上げた。

マクロ・VBAの活用では、連続印刷や並び替えなどの簡単なマクロを組むことで、操作を効率的に行うことができた。今まで使っていたエクセルを利用して、受験票や小テストの成績表を作成できた。時間を短縮できるので、大いに役立った。

データベースを最初から作成したことがなかったので、この研修で学んだことを基礎にして、テーブルを考えるとところからデータベースの作成を試みた。本校では、ほとんどの情報は既にデータベース化されている。校務分掌から、データベース化されていない全校生徒の学級役員の組織票をAccessで作成することにした。

組織表では、委員会やクラス毎にデータの抽出や印刷ができるようにした。メニュー画面からボタンで操作できるように、簡単なマクロを利用した。実際に取り組んでみると、入出力の設計に合わせて正規化を考えることが難しいと感じた。工夫・改善を重ねて、校務に使用できるように完成させたい。

3 今後の取組

特に、ホームページソフトの基礎・活用で学んだことを生かして、学校のホームページの作成をしたい。また、適切な時期に各係が更新をしていけるように、分かりやすい仕組みと手順になるようにしていきたい。

継続研修では、幅広い情報処理の知識を学ぶことができた。データベースやLANの構築などは、教科内容と重なっているため、教材作成に生かして、指導法の改善に繋がってほしい。